土砂災害に備えて

大雨の時など避難の際に必要となりますので、家族全員がわかる場所に貼っておきましょう。

①土砂災害警戒区域や避難場所等を確認しておきましょう！

雨が強くなってきたら、
積極的に雨量情報、予報、警報等の情報を入手しましょう！

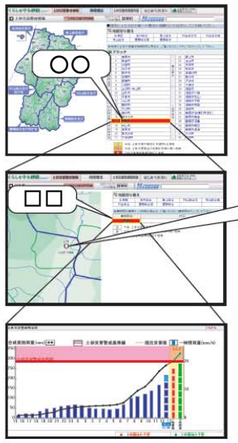
○まずはテレビやラジオ等で
気象情報を確認しましょう。
○雨が強くなってきたら、
インターネットでも確認しましょう。

「山形県 河川・砂防情報システム」ホームページアドレス
パソコン用
http://www.kasen.pref.yamagata.jp/
携帯電話用
http://www.kasen.pref.yamagata.jp/mobile/
山形県河川・砂防情報メール配信登録
http://www.kasen.pref.yamagata.jp/mail/

土砂災害警戒情報（共同発表）

降雨による土砂災害の危険度が高まった時に、山形県と山形地方気象台が共同で、土砂災害危険情報を発表します。
ホームページの「土砂災害警戒情報（共同）」より確認できますので情報を確認しましょう。

山形県 河川・砂防情報システムでの詳細情報



ホームページの「土砂災害警戒情報」より、最新の土砂災害危険度判定（予測）を確認することができます。
各市町村を選択すると、観測所の位置と名称現在の警戒レベルが表示され、さらに観測所を選択することで降雨情報も表示されます。

- ○：発令無し
- ○：レベル1　今後、土砂災害の発生が予想される地域
- ○：レベル2　今後、土砂災害の発生の危険が非常に高い地域
- ○：レベル3　土砂災害警戒基準を超えた地域

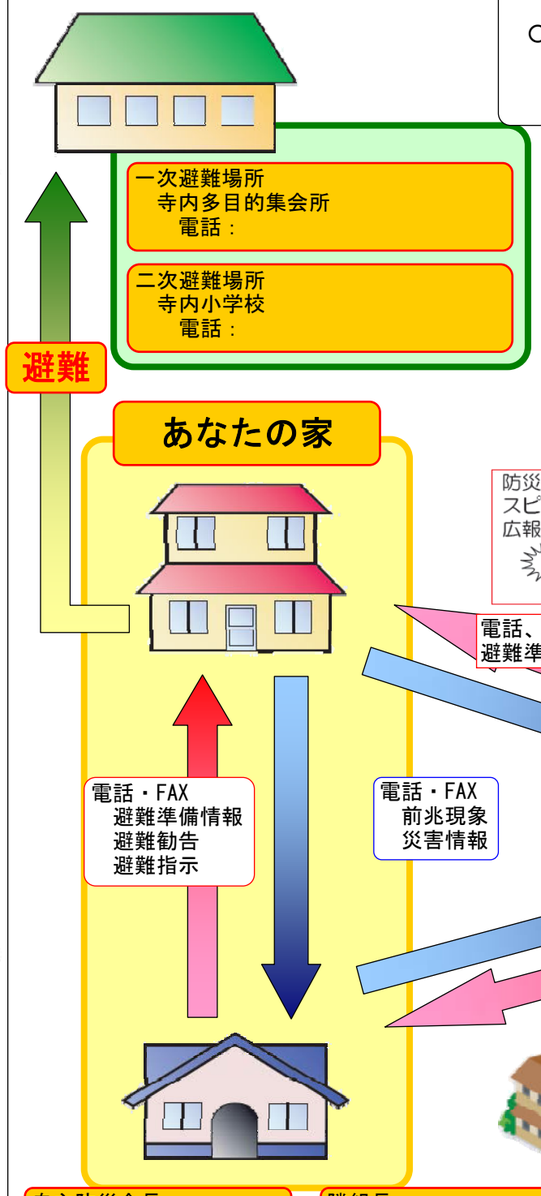
大雨のときは情報に注意し、
警戒基準雨量（合成実効雨量）を
超える前に早めに避難しましょう

○○市□□観測所
合成実効雨量　□□□mm

前兆現象を見つけたら、直ちに区長・役場などに連絡しましょう！

がけ崩れ		○ がけに割れ目が見える。 ○ がけから水がわき出ている。 ○ がけから小石が ばらばらと落ちてくる。
土石流		○ 急に川の流れが濁り 流木が混ざっている。 ○ 山鳴りがする。 ○ 雨が降り続いているのに 川の水位が下がる。
地すべり		○ 沢や井戸の水が濁る。 ○ 地面にひび割れができる。 ○ 斜面から水がふき出す。

避難のときは
**他の土砂災害危険箇所を
避けた避難経路を
選択しましょう**



○避難準備情報が出たら
家族等との連絡、非常用持出品の用意等、避難準備を開始してください。
○避難勧告が出たら
計画された避難場所等への避難行動を開始してください。
○避難指示が出たら
避難していない場合は、避難行動に移るとともに、避難場所への避難が困難な場合には、周囲の建物より比較的高い建物（鉄筋コンクリート等の堅固な建物）の２階以上（斜面と反対側の部屋）に避難するなど、生命を守る最低限の行動をしてください。

○家族と連絡がとれない時は
NTT災害用伝言ダイヤル活用（忘れてイナイ）
メッセージの録音：市外局番＋171＋1＋自分の家の番号
メッセージの再生：市外局番＋171＋2＋自分の家の番号
※携帯電話からもかかります。

市町村からの情報は防災行政無線や広報車でお伝えします。
大雨時には回線が混み合う場合がありますので、前兆現象の通報以外には、出来るだけ使用されないようにお願いします。

尾花沢市消防本部
所在地：尾花沢市新町４丁目5-1
電話：　023７-22-1131

尾花沢市役所総務課
所在地：尾花沢市若葉町一丁目１番３号
電話：0237-22-1111
（休日・夜間）連絡先

○○病院
所在地：
電話：

自主防災会長
住所：
電話：

隣組長
住所：
電話：

～雨の強さと災害の発生状況～

1時間雨量	人が受けるイメージ	発生状況
10～20ミリ	ザーザー降る	長く続くときは注意が必要。
20～30ミリ	土砂降り	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。
30～50ミリ	バケツをひっくり返したように降る	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。都市では、下水管から雨水があふれる。
50～80ミリ	滝のように降る	都市部では、地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80ミリ以上	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。